

## ➤ 17日 木曜

### ホセア

14:1 イスラエルよ。あなたの神、【主】に立ち返れ。あなたは自分の不義につまずいたのだ。

14:2 あなたがたはことばを用意し、【主】に立ち返れ。主に言え。「すべての不義を赦し、良きものを受け入れてください。私たちは唇の果実をささげます。

14:3 アッシリアは私たちを救えません。私たちはもう馬に乗らず、自分たちの手で造った物に『私たちの神』と言いません。みなしごがあわれまれるのは、あなたによってです。」

14:4 「わたしは彼らの背信を癒やし、喜びをもって彼らを愛する。わたしの怒りが彼らから離れ去ったからだ。

14:5 わたしはイスラエルにとって露のようになる。彼はゆりのように花咲き、レバノン杉のように根を張る。

14:6 その若枝は伸び、その輝きはオリーブの木のように、その香りはレバノン杉のようになる。

14:7 その陰に住むものたちは、穀物のように生き返り、ぶどうの木のように芽をふく。その名声はレバノンのぶどう酒のようになる。

14:8 エフライムよ。わたしと偶像との間に、どういう関わりがあるか。わたしが応え、わたしが世話をする。わたしは緑のもみの木のような。わたしから、あなたは実を得るのだ。」

14:9 知恵ある者はだれか。その人はこれらのことを悟れ。悟りのある者はだれか。その人はそれらのことをよく知れ。【主】の道は平らだ。正しい者はこれを歩み、背く者はこれ



につまずく。

イスラエルの回復の様子が書かれています。それはイスラエルの悔い改めです。「自分の不義につまずいたと認める必要があるのです。私たちも人生につまずくとき、神様に対して不義がなかったかどうかを省みる必要もあるのです。

「アッシリヤは私たちを救えません」というのが、偶像に従ってきたイスラエルの答えです。つまり偶像がどこから来たかということ、神以外の強国であるアッシリヤを頼りにして、友好関係を持ったところから始まるのです。

私たちも神意外のものを神のように頼って従うところから、心の偶像礼拝が始まるのだと知る必要があります。

それに対して神様は「わたしは彼らの背信をいやし、喜びをもって彼らを愛する。わたしの怒りが彼らから離れ去ったからだ。」と教えてください。また続いてイスラエルの繁栄を約束してくださいました。

ここに悔い改めの恵があります。その許しの幸いは悔い改めた者しか分らないような、感謝にあふれたものです。神様の愛の素晴らしさは、赦された者にこそ分るものなのです。悔い改めの習慣を身に着けましょう。赦される恵を日々体験しましょう。また互いに罪を認め合い、赦しと愛を宣言しつつ、神様の愛を流す共同体であり続けましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

